

令和6年度社会教育・生涯学習関係職員等研修会【基礎講座】

青少年の体験活動の 基礎知識

福岡県立社会教育総合センター
社会教育振興室 調査・研修班

- 1 体験活動とは
- 2 青少年を取り巻く現状と課題
- 3 体験活動の必要性
- 4 青少年の体験活動の方向性

I 体験活動とは

◎体験活動とは

体験を通じて何らかの学習が行われることを目的として、
体験する者に対して**意図的・計画的に提供される体験**
(平成19年中央教育審議会答申より)

【生活・文化体験活動】

放課後に行われる遊び・お手伝い・野遊び・スポーツ・部活動・年中行事

【自然体験活動】

登山・キャンプ・ハイキング・星空観察
・動植物観察

**社会を生き抜く力を
養う効果に期待**

【社会体験活動】

ボランティア活動・職場体験活動・インターンシップ

2 青少年を取り巻く現状と課題

グローバル化

VUCAの時代

いじめ
不登校

核家族化
少子化

ニート

引きこもり

**社会を生き抜く力
が必要!**

コロナ禍の
影響

虐待
ネグレクト

ヤングケアラー

貧困

大人(保護者)が
体験不足

情報メディア
の発達

人間関係の
希薄化

3 体験活動の必要性

令和2年度体験活動等を通じた青少年自立支援プロジェクト」
「青少年の体験活動の推進に関する調査研究 報告書」
(令和3年3月 文部科学省)

結果①

小学生の頃に体験活動などをよくしていると、
その後の成長に良い影響が見られることが分かった。

結果②

体験活動をよくしていると、家庭の経済状況に関わらず、
良い影響が見られることが分かった。

3 体験活動の必要性

体験活動の影響

自然体験（図1）では主に**自尊感情**や**外向性**、
社会体験では小・中・高校生時期の**向学校的な意識**
（**勉強・授業が楽しい**）、
文化的体験は上記の意識とともに、**新しいことに興味**
を持つ意識や**肯定的な未来志向**にも良い影響が見られることが分かった。

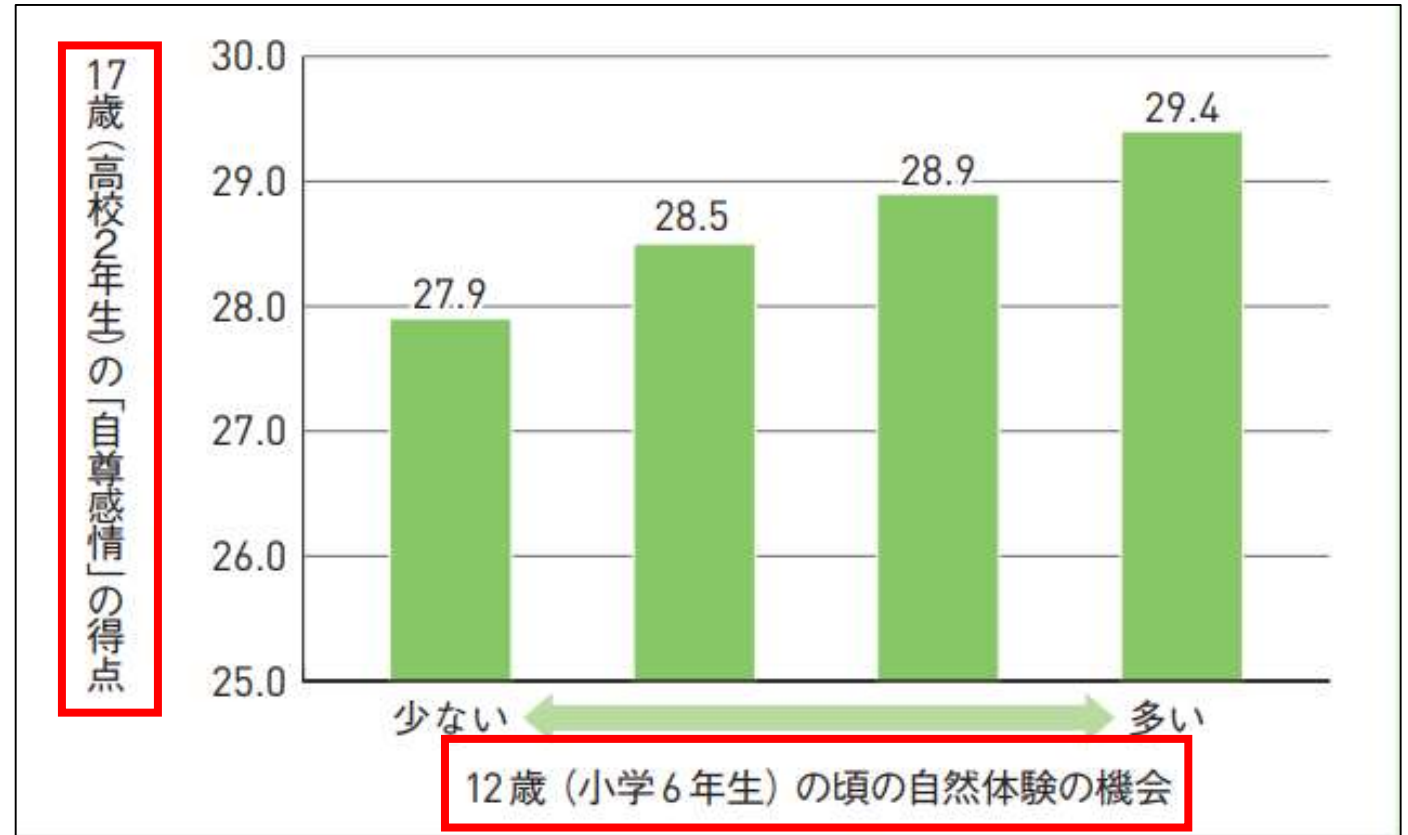


図1 自然体験×自尊感情

3 体験活動の必要性

遊びの影響

遊び相手などによる影響を分析したところ、異年齢の子どもや家族以外の大人とよく遊ぶなど多様な相手と遊ぶ機会が多いと、**自尊心**（図2）や**外向性**などに良い影響が見られることが分かった。

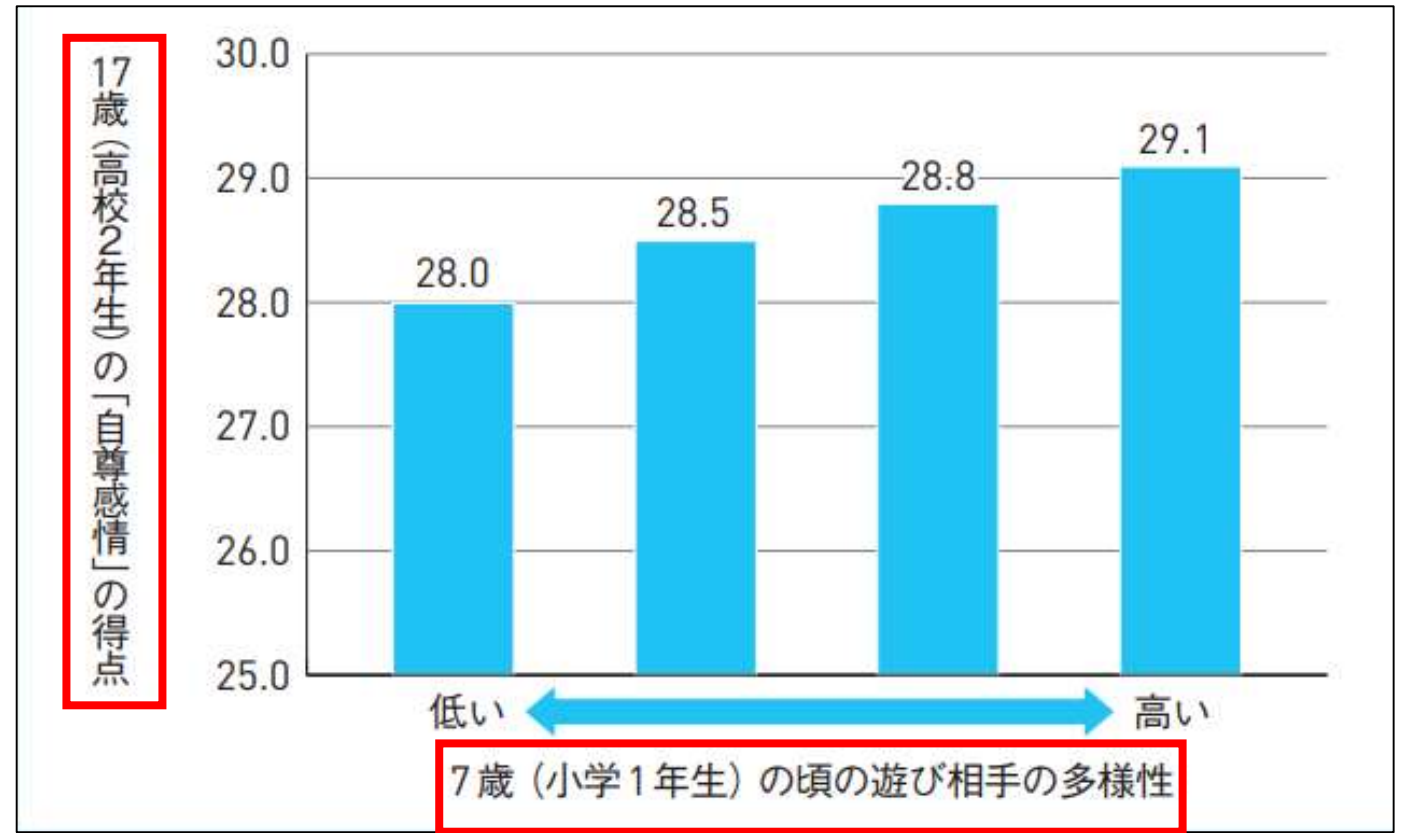


図2 遊び相手の多様性×自尊心

3 体験活動の必要性

お手伝いの影響

お手伝いを多くすることによる影響を分析したところ、**自尊感情**や**外向性**（図3）を始め、**新しいことに興味を持つ意識**や**肯定的な未来志向**、**向学校的な意識**など、全ての意識に良い影響が見られることが分かった。

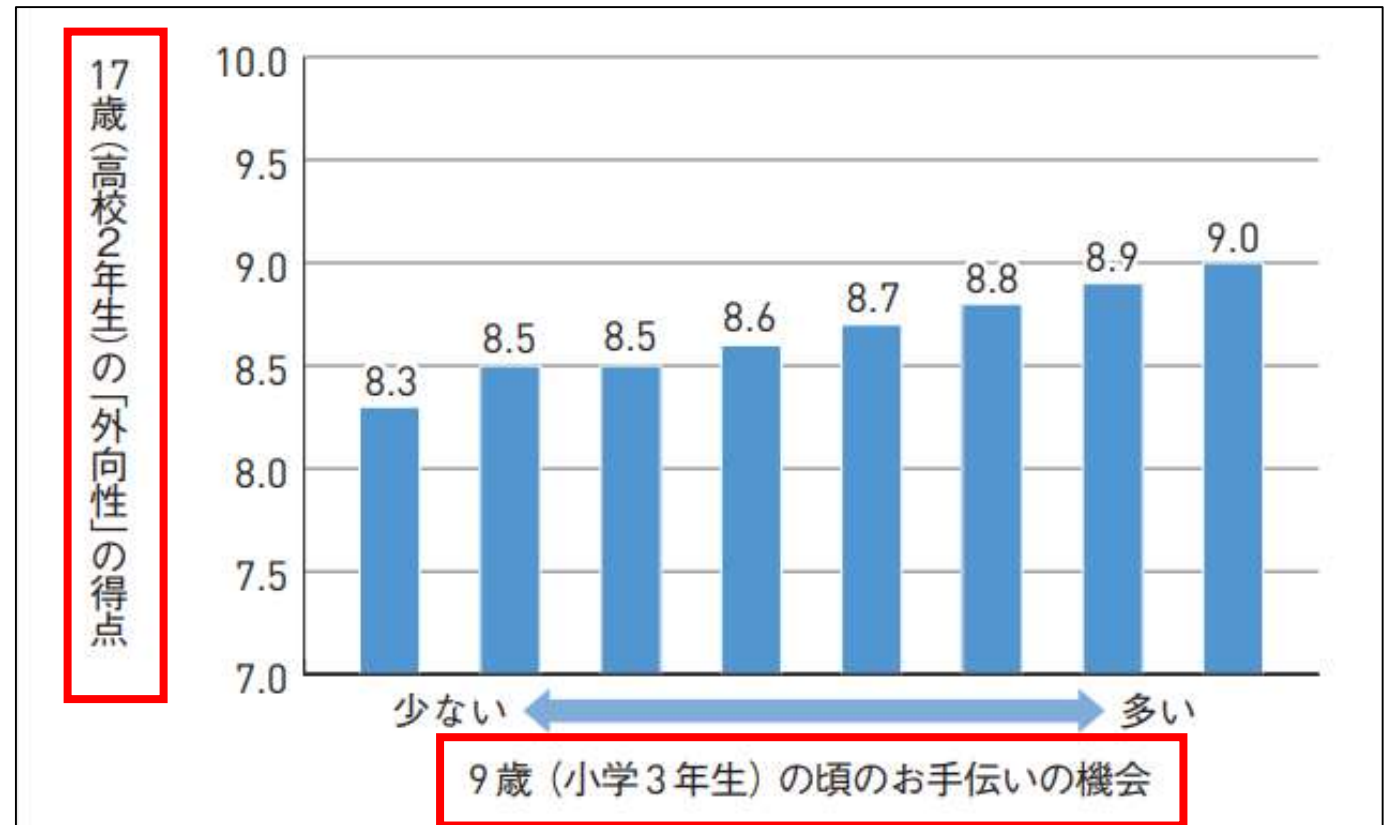


図3 お手伝いの機会×外向性

3 体験活動の必要性

読書の影響

読書を多くすることによる影響を分析したところ、**新しいことに興味を持つ意識**や**自分の感情を調整する意識**、**肯定的な未来志向**、小・中・高校生の時期の**向学校的な意識**（図4）に良い影響が見られることが分かった。

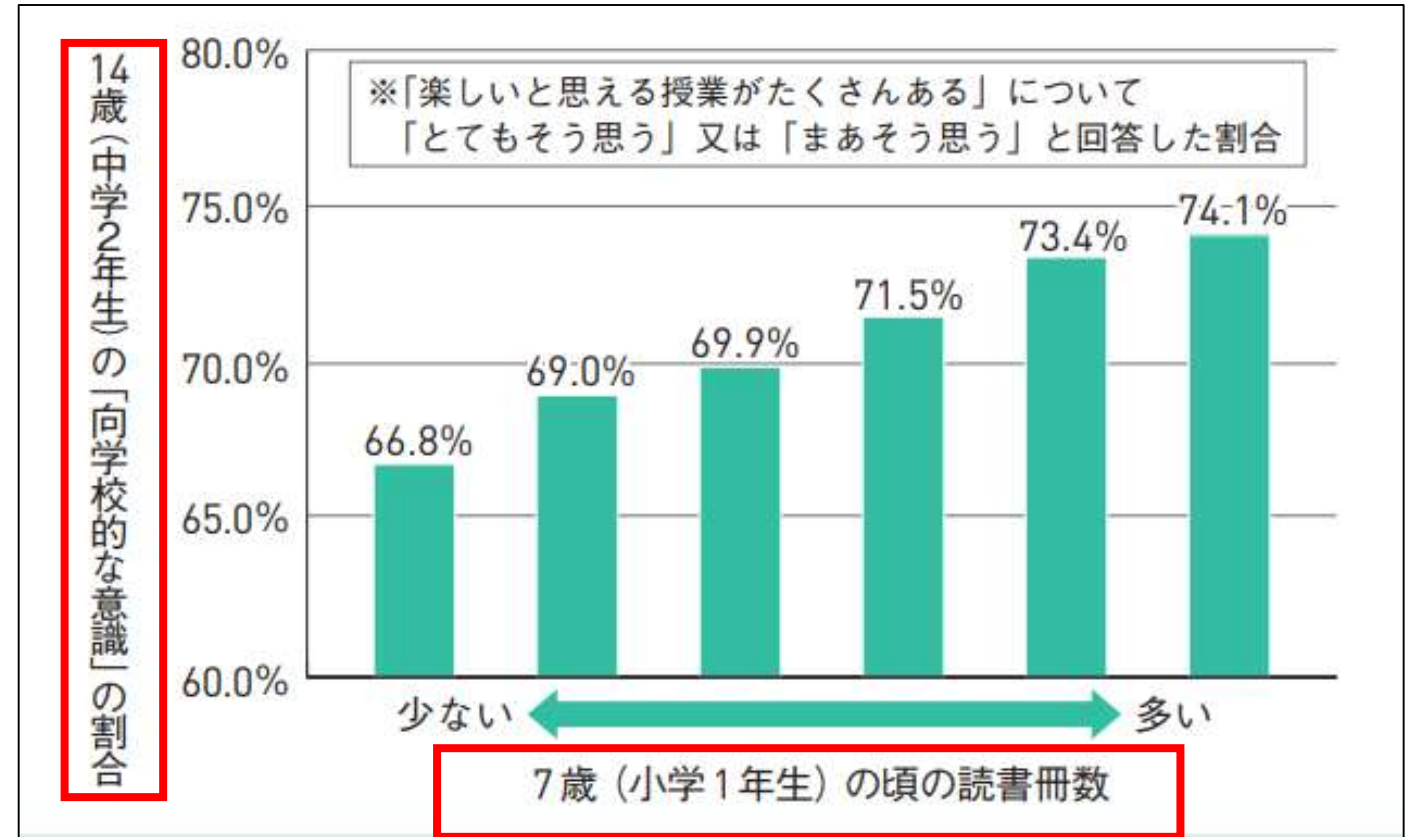


図4 7歳の頃の読書冊数×14歳の「向学校的な意識」の割合

3 体験活動の必要性

家庭の経済状況と体験活動による影響

世帯収入の水準別に分けて体験と意識との関係进行分析したところ、収入の水準が相対的に低い家庭にある子どもであっても、**自然体験の機会に恵まれていると、家庭の経済状況などに左右されることなく、その後の成長に良い影響が見られる**ことが分かった。

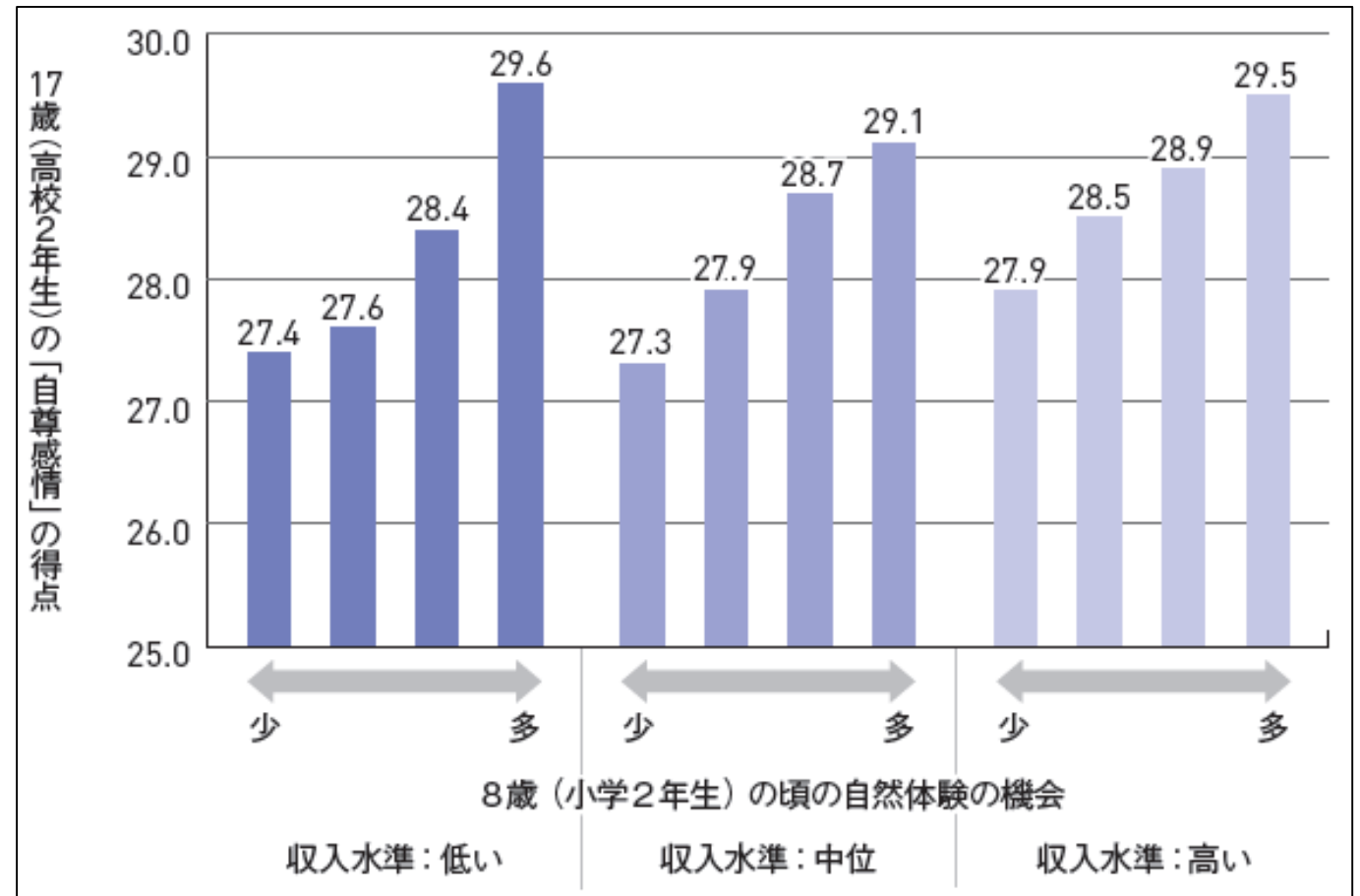


図5 8歳の頃の自然体験の機会×17歳の「自尊感情」の得点(収入水準別)

3 体験活動の必要性

青少年の体験活動等に関する意識調査（令和元年度調査）報告書 令和3年3月 国立青少年教育振興機構

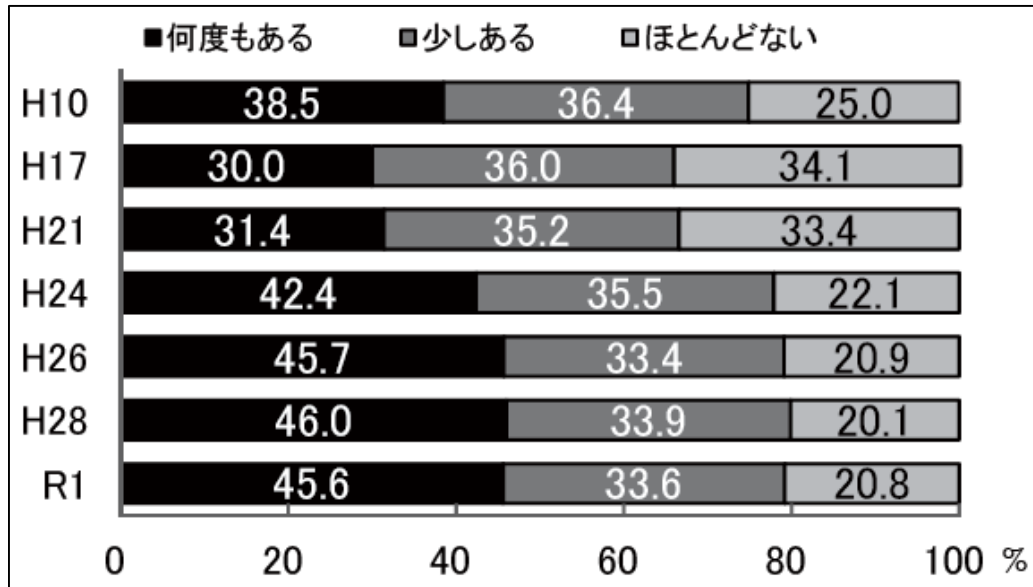


図6 野鳥を見たり、鳴く声を聞いたこと
(小4、小6、中2)

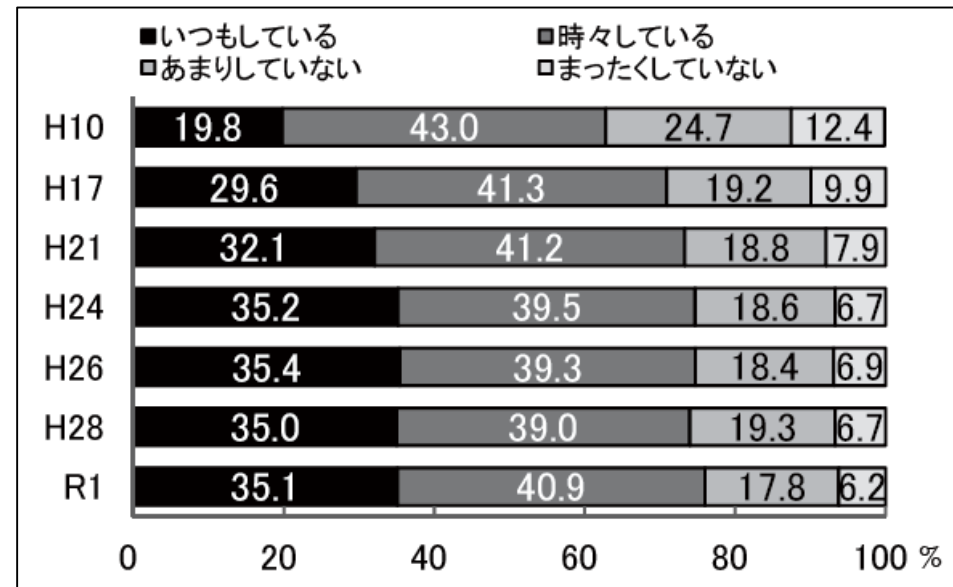


図7 食器をそろえたり、片づけたりすること
(小4、小6、中2)

20年前の子どもたちと比較すると、概ね「自然体験」や「お手伝い」を経験する子どもは増えている。しかし・・・。

4 青少年の体験活動の方向性

福岡県が目指す青少年像

青少年が自分自身を大切にした上で、**相手のことを尊重し互いの多様性を認め、思いやりの心を持って社会的な自立を果たせるよう「豊かな心と志を持つたくましい青少年」**とします。

福岡県青少年健全育成総合計画（福岡県青少年プラン）（令和4年3月発行）

〔4本の柱〕

柱1 全ての青少年の「**生き抜く力**」の育成

柱2 未来を切り拓く青少年の**応援**

柱3 社会的自立に困難を抱える青少年やその家族への**支援**

柱4 青少年の成長を支える**環境の整備**

4 青少年の体験活動の方向性

◎青少年の育成のために

〈方向性1〉 多様な「体験」の機会や場の創出

- 一つの体験ではなく、多様な体験をすることが必要
- 周りにいる大人が「意図的」(何のために)「計画的」に(継続性や発展性をもって)その機会や場を設けるようにすることが大切

〈方向性2〉 多様な体験活動を推進する社会的仕組みの構築

- 家庭・地域・学校が連携・協働し、社会全体で支える仕組みが必要

青少年施策の総合的・
計画的な推進

地域の実情に応じた
施策の展開

各地域、民間団体、
企業との連携・協働

社会教育・生涯学習
関係職員等

必要な情報提供や
調整などの支援

体験活動の指導・助言